

今号の内容

- 難波田城公園 花だより
- 図録紹介「文書の時代～鶴馬村の名主・戸長～」
- 田んぼ体験隊「もちつき」
- 考古館開館50周年
- 春のイベント予定

難波田城公園 花だより

市民学芸員 大山 育子

難波田城公園 花だより

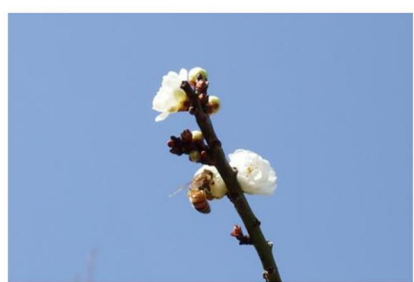
最終更新日：2024年2月20日

- 📧 ポスト
- 📘 シェア
- 📞 LINEで送る

難波田城公園の草木の開花状況などをお知らせします。
なお、蓮池の状況は詳細ページもご覧ください。
過去の花だよりは[花だより一覧](#)からご覧ください。
過去の花だよりから代表的な写真を選びました「[難波田城公園花だより選](#)」
[\(PDF: 1,938KB\)](#)



2月20日撮影。河津桜が咲きました。他のつぼみももう咲きそうな頃合いです。



2月20日撮影。曲輪1のしだれ梅は散り始めていますが、蜜を求めてハチが来ていました。

難波田城公園では四季折々いろいろな草木を楽しむことができます。

草木の開花状況などリアルタイムな情報を発信している「難波田城公園 花だより」をご存じでしょうか。「富士見市ホームページ」から「難波田城公園 花だより」で検索すると見ることができますので、ぜひご利用ください。

このコーナーを令和3年（2021）の秋から担当している方にお話を伺いました。

写真を撮るときに気を付けていることはありますか？

「難波田城公園にあるものだと分かるように、できるだけ背景に建物などを入れます。また、写真の説明文もできるだけ簡潔で読みやすい文章になるように心がけています」

他に心がけていることはありますか？

「花に限らず、昆虫や野鳥、季節を感じられるものも取り入れています。毎年同じ対象でも変化がつくように、豆知識的な内容を調べて説明文に取り入れています」

また、「3年もいると公園の景色を見慣れてしまうので、初めて来た頃の新鮮味を忘れないで撮影を続けたい」と話してくださいました。

さあ、間もなく城跡ゾーンの桜が開花します。「難波田城公園 花だより」で開花状況をチェックしましょう。楽しみですね。

https://www.city.fujimi.saitama.jp/madoguchi_shisetsu/02shisetsu/shiryokan/nanbatajo/seasons/hanadayori-new.html



難波田城公園 花だより

市民学芸員のページ *このページは市民学芸員が原稿を執筆、編集しました。



資料館窓口にて200円で発売中

時代と共に変化はあるものの、役所にあたる業務には現代に通じるものが多数あったことが読んでいて興味深く感じました。(飯野ミネ子)

この図録は、江戸時代に名主を、明治初期に戸長を務めてきた横田家に伝わる古文書を紹介する企画展に際して作成されました。図録では江戸時代の年貢・法・印鑑などの説明があります。年貢関係の文書は比較的多く残っています。年貢の割り当てから支払いまで、証拠となる多くの文書が作られました。図録に掲載されている「年貢米取立之図」に旧大澤家住宅を重ねて想像してみると、その空気が伝わってくるような気がしました。法については、領主から文書で伝えられ、名主などが村人に伝えました。また戸籍の管理は寺と共に、転出入においては現代の住民票の移動にあたるものが実行されていた、といえます。十七世紀末には印鑑を持つ農民が多くなり、偽造も多発し偽造禁止令が出されるに至ったとのこと。明治時代に入っても横田家は戸長・副戸長として村役人の任が続き、自宅が役場だったので様々な文書が残ることとなったといえます。その古文書約七千点は平成十三年(二〇〇一)に市の有形文化財に指定されました。

難波田城 ちよっと拝見 みどころ紹介

図録『文書の時代』鶴馬村の名主・戸長』(平成13年)

る時間との勝負はあわや忘れられそうに。つきあがったもちは、のしもちにしてお持ち帰り。試食用のもちを黄粉や醤油で堪能。「アンコありますか～」と微笑ましいリクエストもあり、アンコがなくても子どもたちのはじける笑顔が印象的でした。

もちつきは一人ではできません。それぞれの役割があり、連帯感を高め喜びを分かち合う意義もあります。難波田城公園は、一人で行っても独りぼっちじゃない居場所だと思いました。

(古橋 純子)



おもしろ・なつかし体験⑦
田んぼ体験隊 もちつき

このコーナーは、難波田城公園での体験学習やイベントの紹介・報告・参加者の感想などを取り上げます。

「ヨイショ～!!ヨイショ～!!」旧金子家住宅の土間に今年も元気な掛け声が響きわたりました。12月16日の午前10時から令和5年度田んぼ体験隊の総仕上げともいえるもちつきの開始です。

公園内の田んぼで5月20日の第1回種まき・田うないから始まり、田植え、稲刈り等、第7回のもちつきまで8か月にも及びました。

参加者は14組44人。4班に分かれてもちつきを行いました。順番待ちの班は、待ち時間も楽しめるよう、納屋前であたたかな日差しを浴びて縄ない体験をしました。前々日から職員の方が準備し、本番は参加者、ボランティア、市民学芸員と総出で取り組みました。子ども達は杵でつくのは1人5回まで。危なっかしくもチョココンとかぶった三角巾がまぶしく、熱々に蒸したもち米が冷めないうちにつきあげ

人の創ったもの★人の使ったもの

考古館開館50周年

水子貝塚と難波田城、二つの市立資料館の前身である「富士見市立考古館」は、昭和48(1973)年8月に開館しました。満50年に達したことを記念し、両館合同で記念展「ひらいた 考古館」を開催します(3月9日～6月9日)。

展示のあらまし

展示は、考古館が必要となった背景、考古館の建設、常設展示の変遷、考古館を拠点とした埋蔵文化財や民俗の調査、考古館が企画したさまざまな学習活動と、そこから誕生した友の会、考古館から資料館への転換などを、紹介します。

幻の設計図

1月に第170回芥川賞を受賞した『東京都同情塔』は、国民的議論の末に採用取消となった国立競技場の設計案が、そのまま採用されて建設された、パラレルワールドを舞台としています。

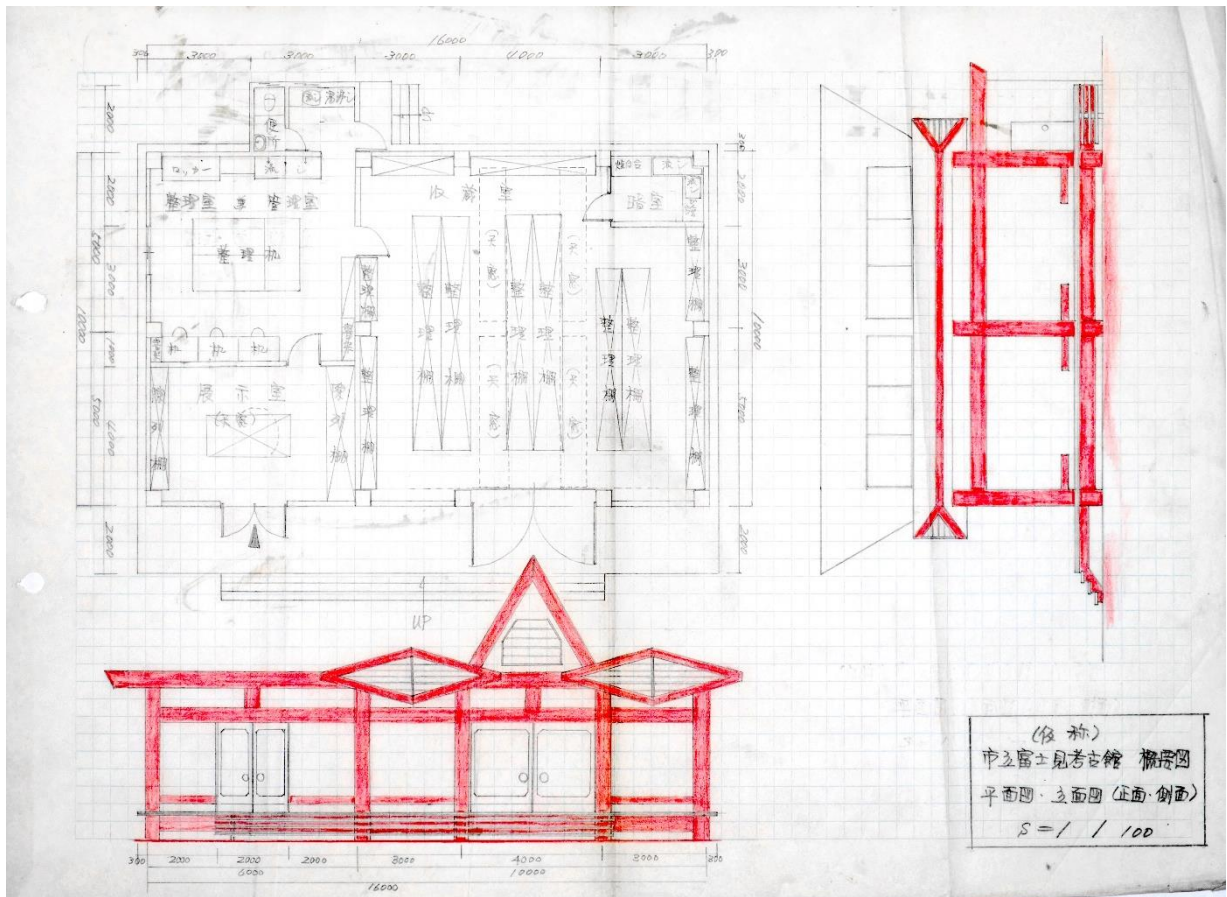
このコーナーでは、当館所蔵の資料や富士見市ゆかりの資料を紹介します。今ではあまり使われなくなったものからわたしたちの身近な歴史をひもといてみたいと思います。

考古館も、いくつかの設計案がありました。そのうちひとつは、柱を赤く塗り、古代の倉庫あるいは神殿を連想させる大胆な形状・配色でした。

実際に建築された考古館は、どちらから見ても長方形、すなわち直方体で、わずかに窓枠や扉の緑色がアクセントとなっています。公共施設はこのように落ち着いたデザインになりがちです。しかし、全国にはユニークな公共建築デザインで有名になっている都市もあります。もし、当時の責任者が個性的なデザインを選択していたら… 別な意味で見学者が押し寄せ、その後の考古館の展開も変わっていたかもしれません。

必然か偶然か

よく、歴史的な出来事は必然か偶然かが話題になります。つい、結果から逆算して原因を求め、逆らえない流れと考えがちです。しかし、人々の選択により無数の分かれ道があったはずで、歴史は過去のみではなく、今現在も作られ続けています。どんな未来が選ばれていくのでしょうか。(早坂廣人)



春のイベント予定

掲載したイベントは、感染症の影響などで中止・変更となる場合があります。

●春期企画展

富士見市立考古館開館 50 周年記念展

「ひらいた 考古館」

50 年前、市立資料館の前身である「市立考古館」が開館しました。

水子・難波田の 2 つの資料館になるまでの 27 年間のあゆみなどを紹介します。

とき／3月9日(土)～6月9日(日)

会場／水子貝塚資料館・難波田城資料館

企画展関連講演会

「市民の好奇心が考古館を変えた」

とき／3月16日(土) 午後1時30分～3時

会場／難波田城資料館

定員／30名(無料、申込順)

講師／会田 明氏(元 難波田城資料館館長)

申込／3月1日(金)から難波田城資料館に電話で

ふじみ考古学教室

「無我夢中～考古館創成期～」

とき／3月23日(土) 午後1時30分～3時

会場／水子貝塚資料館

定員／30名(無料、申込順)

講師／荒井 幹夫氏(元 水子貝塚資料館館長)

申込／3月1日(金)から水子貝塚資料館に電話で

●第40回ふるさと探訪

びん沼と家康の足跡をたどる

とき／4月27日(土)午前9時～12時30分

集合／市内循環バス乗り場「富士見市役所」前

※小雨決行

主な見学地／昼間の渡し場跡、斎藤治水翁しょうこう 功碑、
蛭沼陸田開拓碑など

定員／20人(申込順)

持ち物／飲み物、雨具

参加費／500円(保険料等、当日集金・バス代別)

申込／4月2日(火)から25日(木)までに電話で

主催／資料館友の会ふるさと探訪部会・難波田城資料館

備考／上記集合場所から市内循環バスでびん沼荘(老人福祉センター)に移動した後、徒歩となります。

びん沼荘まで直接向かわれる方は受付時にご相談ください。その際びん沼荘までは公共交通機関等をご利用ください。

●ちよっ蔵市「かしわ餅」

とき／4月28日(日)午前11時より

価格／1パック350円(3個入り)※売り切れ次第終了
場所／旧金子家住宅

●ちょこっと体験「よろいを着てみよう」

とき／5月11日(土)午前10時～正午、午後1時～3時

対象／幼児(5歳以上)～大人

会場／旧金子家住宅

定員／30分ごとに5人(計40人 無料、申込み順)

協力／川越藩火縄銃鉄砲隊保存会

申込／5月1日(水)午前9時から電話で

●田んぼ体験隊(全7回)

種まきからもちつきまで年間を通して活動します。

定員／15組(1組4名以内、申込順。申込多数の場合は初参加者優先)

対象／市内在住者を含む家族又は友人

参加費／1組1000円(年間。材料費・通信費等)

申込／4月6日(土)から電話で

農業指導／柳下春良氏(地元農家)

日程／

回	内容	日付	時間
1	種まき・田うない	5/18(土)	14～16時
2	田植え	6/15(土)	14～16時
3	草取り(1回以上参加)	7/6(土) 7/27(土)	10～11時
4	かかしづくり・流しそうめん	8/3(土)	10～12時
5	稲刈り	10/19(土) 予備日 10/26(土)	14～16時
6	脱穀	11/2(土)	14～16時
7	もちつき、わら細工	12/14(土)	10～12時

●難波田城公園まつり

6月2日(日)に開催予定です。

田舎まんじゅう販売
第1.3日曜日 10:30～

※各イベントの詳細は、広報ふじみ、公式サイトなどでお確かめください。

〈開園時間変更のお知らせ〉

4月から9月の間、公園の閉門時間は午後6時になります。資料館と古民家は午後5時までです。



富士見市立難波田城資料館

〒354-0004 埼玉県富士見市下南畑 568-1

TEL. 049-253-4664 Fax. 049-253-4665

https://www.city.fujimi.saitama.jp/madoguchi_shisetsu/02shisetsu/shiryokan/nanbatajo/index.html

◆休館日／月曜日(祝日を除く)、祝日の翌日(土・日・祝日を除く)、年末年始 開館時間／午前9時～午後5時

◇公園休園日／なし 開園時間／午前9時～午後6時(4月～9月) 午前9時～午後5時(10月～3月)



資料館公式サイト